

モニタリングチェックシート（平成28年度）

< 評価 >

優：特記すべき実績・成果が認められるもの

良：管理運営が良好と認められるもの

要改善：一部において改善を要する点が見受けられるもの

施設名	石神井障害者地域生活支援センター
指定管理者名	社会福祉法人 練馬区社会福祉協議会
評価者	障害者施策推進課長

評価項目および評価の視点	評価	評価理由・改善すべき点等
1 効率的運営・効率化への取り組み <ul style="list-style-type: none"> 事業計画書で提案されたとおり事業が実施されているか 計画的な予算執行であるか 管理業務費の経理、収納した金銭の取扱いおよび実費負担金等について、適正な処理および管理を行っているか 施設の利用状況は良好か 	良	<ul style="list-style-type: none"> 基本協定や事業計画書に基づく事業運営がなされている。 計画的な予算執行、会計処理の帳簿整理等が行われている。 実費負担金（事業の参加費等）は、適正に管理されている。 オープンスペースの利用者は多く、施設の利用状況は良好である。
2 施設管理運営体制 <ul style="list-style-type: none"> 業務の再委託における範囲は適正か 物品購入および再委託の際に、区内業者の活用に努めているか 職員配置は協定を遵守しているか 職員について区内雇用の促進を図っているか 設備の保守点検・備品の管理は適切に行われているか 緊急時のマニュアルを区と協議して整備し、緊急時には適切な措置を講じているか 練馬区環境マネジメントシステムの趣旨を踏まえた業務を行っているか 	良	<ul style="list-style-type: none"> 業務の再委託における範囲は適正である。 物品購入等における区内業者の活用に努めている。 職員配置は協定を遵守し、適正な運営体制を整えている。 設備の保守点検、備品の管理は適切に行われている。 緊急時等のマニュアルを整備し、必要な訓練等を実施している。 用紙使用量の削減に努める等、環境マネジメントシステムの趣旨を踏まえた業務を行っている。
3 サービスの維持・向上に向けた取り組み <ul style="list-style-type: none"> 現在のサービス水準を維持し、向上に向けた取り組みを進めているか 利用者ニーズに対応できる事業を適切に実施しているか 苦情処理の規程と体制を整備し、苦情があった際に適切かつ迅速に対応しているか 地域との連携を図って事業を実施しているか 計画的に職員研修を行うなど、職員の育成に努めているか 	優	<ul style="list-style-type: none"> 個別支援会議が90件（昨年度の1.3倍）を越え、複雑な課題があり対応が難しい利用者に対して、関係機関ときめ細かく連携し、丁寧な支援を実施している。 リカバリーと病気の自己管理プログラム（IMR）等を通して、自分が抱える課題を整理し、主体性を引き出す支援を充実させている。IMRを終了した利用者のなかには、就労支援事業所や就労につながる人もいる。 利用者が地域のお祭り等へ参加するほか、近隣施設の事業補助や町会の事業への参加等を通して、日常から積極的に地域と交流を図っている。
4 法令遵守等 <ul style="list-style-type: none"> 労働基準法、労働安全衛生法、育児・介護休業法等、労働環境に関する法令等を遵守しているか 練馬区情報セキュリティポリシーおよび個人情報保護条例に準拠した規程を設け、必要な措置を講じているか 情報公開条例等に準拠した規程を設け、必要な措置を講じているか 	良	<ul style="list-style-type: none"> 雇用に関する関係法令等の遵守について、適切に対応している。 練馬区情報セキュリティポリシーおよび個人情報保護条例に準拠した規程を整備し、研修や職員会議を通じて周知徹底に努めている。 情報公開条例に準拠した規程を整備し、必要な措置を講じている。
5 利用者評価等 <ul style="list-style-type: none"> 利用者アンケート等の評価は良好か 運営協議会からの評価は良好か 	良	<ul style="list-style-type: none"> 相談をしたときの職員の対応への満足度が85.5%など、利用者アンケートの評価は良好である。また、運営協議会からの評価も良好である。
総合評価	良	<ul style="list-style-type: none"> 項目全般について、区が求める水準を満たしている。 専門性を必要とする困難事例に関係機関と連携し、適切に対応している。 リカバリーと病気の自己管理プログラム等を通して、利用者が抱える課題を整理し、主体性を引き出すための支援をすることで、利用者の日中活動の場を広げることにつながっている。 施設周辺の清掃活動や町会の掲示板の管理等を通して、日常的に地域と交流しており、地域住民の障害への理解の促進が図られている。